

# 創立100周年 飛躍年にしよう!

## ● カリスマの集まる高校

福田 麻貴（高59期）

中学3年生の冬、暗記シートとにらめっこしながら思い描いていた住吉高校での高校生活。実際はその想像を何倍も超える刺激的な日々が待っていました。遊んで悩んで努力して駆け抜けた3年間。一生分の汗と涙とアドレナリンを使い切ったような3年でした。

ダンス部での部活動と遊びに明け暮れて、勉強をした覚えがほとんどなく、授業をサボったり昼から登校しても誰からも怒られることはませんでしたが、3年生になって受験勉強が始まると、サボっていた2年間を1年で取り返さないといけない羽目になり、自分の責任で選択することと自己管理の大切さを痛感しました。

体育祭の応援団や、文化祭の演劇では、高校生とは思えないほど発想の枠を超えたクリエイティブと表現力をを見せつけてくる猛者達から刺激を受け、吸収し、現在に繋がる私の芸能活動の礎となったことは間違ひありません。

私の通っていた国際教養科は2クラス約80人。2回クラス替えをすればほとんど全員がクラスメイト。いつでも私より少し大人で、斬新で、才能に溢っていて、自由な発想を教えてくれた国教のみんなが今でも私の誇りです。

**ふくだ まき**：住吉高校 国際教養科卒。関西大学 商学部 卒。2017年 ゆめっち かなでとお笑いトリオ「3時のヒロイン」を結成。2019年『女芸人No.1決定戦 THE W』で優勝。バラエティ番組を中心にYouTube、ドラマ、コラム執筆など幅広く活躍中。フジテレビ「めざまし8」、テレビ朝日「トゲアリトゲナシトゲトゲ」、テレビ東京「おはスタ」などレギュラー出演中。



母校の創立100周年を来年の秋に控え

各界でご活躍の卒業生に学生時代の思い出などを綴っていただき

創立100周年の機運を高めていきたいと思います

往時を懐かしく思い出し、またこれからの住高の飛躍に思いを馳せ  
創立100周年を迎えましょう！

## ● 海外研修と刺激

竹田 航太（高68期）

入学当初、自分が海外に行くとは思っていなかった。住高にサイエンスとインターナショナル両方の特色があることは分かっていたが後者には興味なかった。

当時は見えている世界が狭かった。日々の高校生活が楽しくないわけではなかった。ただ、高校で得られる情報は少なく、自分の知っている範囲の外にはもっと豊かな世界が広がっていることを知らなかった。今振り返るとそう思う。

海外に行って少し刺激を受けた。在学中、ありがたいことにイギリス・ケンブリッジに行く機会を得た。同窓会からの支援のおかげだ。そこではコミュニケーションも難しいことを痛感し、また、出会うもの全てが新しく見え、自分には知らない世界があったということを知った。なんとか新しい世界にくらいついているうちに、2週間が経っていた。

今は当時より多くのことを知っている。また、より多くのことを知ろうと努力するようになった。これにはケンブリッジで受けた刺激も影響している。そのような経緯があって現在、在学生に向けて「刺激」を与えるような教育体験を提供するために同窓会と連携した活動を模索している。

**たけだ こうた**：京都大学大学院 理学研究科 数学教室 修士2年／住吉高校 総合科学科卒。第2回ケンブリッジ研修生。京都大学大学院では応用数学を専攻。UQ×数理流体力学の研究。株式会社 activo webエンジニア、フルスタックを開発。NPO法人 CLACKオンライン講師や講師研修、教材開発を担当。



孫から聞く限り住吉高校の雰囲気や良さは変わっていないようで、今でも住吉高校の伝統がちゃんと引き継がれていますに少しほっこりしました。

**【歩】** それでも50年しか離れていないので、2倍ある100年という期間はすごく長いなと感じました。人が生まれて死ぬまでの間、ずっと同じ学校があったと思うとすごいことだと思うし、こうやって100周年記念にこのような形で携わってとても嬉しいです。祖母ともまさかこんな形で何かするとは夢にも思いませんでした。

**【京子】** 「エッセイ書かへん？」と孫に言われた時はびっくりしました。でも、孫に言われたら断れないですよね(笑)。住高愛でやつてやろう！と思ってメッセージを書くことにしました。普段こんなことはしないのでとても緊張しましたが、孫と共に演することができますよかったです。こういった時代を超えたつながりはとても貴重だし、これからも大事にしていってほしいと思います。

\*ヤング天城会議：日本IBM株式会社が主催する、高校生のための人材育成プログラム。

**さかぐち きょうこ**：旧姓 池本 京子  
**さかぐち あゆむ**：大阪府立大学 生命環境科学域応用生命科学類生命機能化学過程 在学中／住吉高校 総合科学科卒。第5回ケンブリッジ研修生。NPO法人 ドットジェイビーのスタッフや友好祭実行委員会の委員長を務めた。



## ● 住吉高校時代を振り返って

阪口 京子（高19期）・阪口 歩（高71期）

**【歩】** 住吉高校のことを知ったのは、中学3年生の12月でした。進学先を迷っていた僕に、友達が住吉高校のパンフレットを渡してくれ、それがきっかけで住吉高校に進学しようと思いました。そして、祖母が住吉高校出身というのを母から聞くのですが、祖母は僕がどの高校に行きたいか知らなかったので、どうせならサプリズで教えてあげようということになりました(笑)。

**【京子】** 私が孫の住吉高校入学を知ったのは、合格発表の当日でした(笑)。その時は住吉高校の頃の友達と一緒にいて、孫から住吉高校の合格メールが来たときは本当に腰が抜けるかと思いました。でも、私はたくさんの思い出がある住吉高校が大好きなので、孫が住吉高校に入学してくれてとても嬉しかったです。

**【歩】** 僕も住吉高校に入学したことは人生のターニングポイントだと思っていた、本当に勉強やそれ以外のことでもたくさん経験することができました。ケンブリッジ語学研修や、ほかに担任の先生の紹介でヤング天城会議\*というものにも参加させていただきました。大学入学後も様々なことに挑戦しましたが、住吉高校の出来事がなければきっと挑戦しようとは思っていなかつたと思います。こうやって積極的な姿勢になれたのは、住吉高校の先生方や、学校の友達のおかげなので、とても感謝しています。

**【京子】** 私が19期生で、孫が71期生。50年以上離れているけれど、